

54 イナザワハベガイ

(イトカケガイ科)

兵庫県ランク:B

Alexania inazawai

環境省ランク:指定なし

種の概要

相模湾から九州、瀬戸内海、日本海西部に分布し、潮間帯のタテジマイソギンチャクに付着する。殻長10mm。殻は淡水産のヒメモノアラガイに似ている。殻表は平滑、褐色で光沢があり殻口は広く、夏期に砂粒でかためた俵状の卵嚢を産む。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

西宮市、洲本市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島南部と中部、西宮市の干潟のみで確認している。タテジマイソギンチャクが固着している岩礫に生息するが、個体数は非常に少ない。

保護上の留意点

河川や内湾干潟周辺において、やや潮通しのよい岩礫場の保全を行い、タテジマイソギンチャクの付着基盤が波で被われないようにする。



【執筆者】 川渕千尋